CREATE LASTING IMPACT

高岡北ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日　12:30～13:30
例会場・ホテルニューオータニ高岡

創　立・1980 年 5 月 19 日
認　証・1980 年 6 月 12 日
国内創立順位・1489

会　　長　長澤　貴士
幹　　事　上田　正宙
公共イメージ委員長　村牧　啓功

第 2019 回　例会　9 月　7 日（月）

◇点　　鐘
◇国歌斉唱
◇ソ ン グ　　“四つのテスト”
◇ゲスト並びにビジターの紹介
　ゲスト：米山記念奨学生　ルビ　様
◇会長挨拶並びに報告
　皆さんこんにちは。まず報告は、以前より進めておりました事務局の移転についてですが、色々な方のご尽力があり、見学等を行い、最後に高岡商工ビルに話をしたところ、退去は困るとのことで、家賃の見直しを行っていただき、利便性などを考慮した結果、今年度は、残留することになりました。
　先日から豪雨の影響で、氷見中央ロータリークラブが休会されます。それに伴い米山記念奨学生のお世話クラブ交代の打診がありました。また何かあればご報告いたします。その関連ではないのですが、私の会社にも水没した車が数台入ってきています。すべて廃車です。エンジンがかかってもメーターにチェックランプがたくさんついてもう使い物になりません。皆さん、自動車保険に入っておられると思いますが、車両保険に入っていれば対象になりますし、新車特約に入っていれば、保険屋さんの方から新車購入資金が出ますので、この機会に、自動車保険だけでなく、火災保険なども見直してみてはいかがでしょうか。
　最後にルビさん、本日、卓話よろしくお願いします。
◇9 月誕生日祝い
　山辺　知代　君（　6日）
　宮田　義弘　君（16日）



◇委員会報告
＊八塚会計より、2025-26 年度会計報告
◇出席報告　　出席者　19 名　メイクアップ済　0 名

会員数	本日の出席率	8/24 例会 修正出席率
28 名	82.61　％	78.26　％

◇ルビ様に 9 月分の奨学金をお渡しする
　皆様こんにちは。大学で脳と記憶について研究しています。実験データの分析をしました。また先日、手を怪我しました。手術を受けて今はリハビリをしています。少しずつ良くなっています。皆様から暖かいお言葉を頂いてとても嬉しかったです。ありがとうございます。
　今月は、立山ロータリークラブ、東となみロータリークラブで卓話をしました。エジプトの文化や私の研究についてお話ししました。たくさんの方とお話しできました。皆様とても親切でとても楽しい経験になりました。
　日本語はまだ少し難しいです。でも、毎日少しずつ頑張っています。これからも研究と日本語の勉強を頑張ります。皆様いつもありがとうございます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。
◇ニコニコ BOX 報告
長澤会長：ルビ様、本日の卓話よろしくお願いします。
勝山　功君：久しぶりに H.N.O.（ホテルニューオータニ）に来ました。
野尻信晴君：回転寿司の乗車拒否したくなる皿の色
村牧啓功君：長男が入籍します。8 年 9 月 10 日。8・9・10 だそうです。
【今年度ニコ BOX 累計額　67,000 円】
◇幹事報告
1）次回 9 月 14 日（月）例会は 18 日（金）へ変更し、「高岡万葉 RC との合同懇親夜間例会」を開催します。18 時 30 分より DUO5 階マルチスペースにて例会、その後 7 階レストラン DUO に移動し懇親会を行います。
2）配布：①2025-26 年度決算報告書
　②2026-27 年度会員名簿
3）回覧：①ガバナー月信 NO.3（テーブル毎）
　②会報 NO.6、7（テーブル毎）
　③米山記念奨学会より米山梅吉記念館報 2026 年秋号

◇本日のプログラム（担当：米山記念奨学会）

卓話「日本で学ぶ外国人博士課程学生としての生活と研究」

米山記念奨学生　ルビ　様



ハサン・ルビです。エジプト・ギザ出身の30歳です。現在は富山大学大学院博士課程3年です。脳・記憶・睡眠のしくみを研究しています。

エジプトはアフリカ大陸の北東部に位置し、アラビアやヨーロッパともつながっています。ナイル川は「エジプトの生命」。肥沃な土地をもたらし、古代から人々の暮らしを支えています。ピラミッドやスフィンクスなどの世界遺産があり、現代では経済や文化の中心地として発展しています。



私が生まれ育ったのは、首都カイロのすぐ近くにあるギザという町です。ギザは世界的に有名なピラミッドがある町で、多くの人にとっては、特別な観光地ですが、私にとっては、子供のころから毎日見ていた日常の風景です。家族や友達との大切な思い出がたくさんある町です。



2014年から2019年まで、カイロ大学薬学部学士課程で学びました。社会人経験を経て、2021年から2024年まで、神経薬理学の修士課程で学び、神経薬理学の修士号を取得しました。学生を教える経験も出来ました。カイロ大学では、知識だけではなく「考える力」を学びました。

なぜ日本を選んだかというと、2019年から2021年まで、サウジアラビアの製薬会社SAJAで働きました。SAJAは、サウジアラビアと日本の企業による合弁会社です。コロナ禍でも、エジプト市場への医薬品供給に携わりました。

2022年に広島大学 e-START プログラム「Peace and SDGs」プログラムに参加しました。世界の学生と一緒に学び、意見を交換しました。このプログラムで、石田先生と出会いました。日本の大学や先生との交流を通して、日本を訪れ、実際に学んでみたいという気持ちが強くなりました。

カイロ大学薬学部で、カリーム・アブドゥ先生と一緒に研究しました。アブドゥ先生は、富山大学の井ノ口研究室で博士号を取得しました。



先生の記憶研究について、よくディスカッションし、日本での研究や生活について、いろいろな話を聞きました。「富山大学で研究してみたら？」と背中を押してくれました。



2024年2月、私はエジプトを離れ富山に来ました。期待と少しの不安を抱えながら、新しい生活と研究が始まりました。富山に来てから、たくさんの初めてを経験しました。初めて見た桜は写真よりも美しく、初めての雪国生活は、雪は美しいですが、生活には少し苦労しました。食文化では、特に寿司が大好きになり、日本の食事を楽しんでいます。少しずつ日本の生活に慣れ、富山が第二の故郷になってきました。

富山大学での研究テーマは「脳は自分の活動をコントロールできるのか？」という疑問から始まりました。実験はマウスの脳波をリアルタイムで記録し、海馬に特定の脳波が現れたとき、報酬に繋がる刺激を与え、この脳波を少しずつ増やすことができるか調べています。



地域とのつながりと日本での経験として、高岡向陵高校の「English Day」に参加し、英語を通して子どもたちと交流しました。県営住宅では、日本人の近所の方々と一緒に清掃活動に参加しています。地域のお祭りを見に行き、富山の文化を体験しました。そして、地域とのつながりをさらに広げてくれたのが、ロータリー米山奨学会との出会いでした。

新しい出会いがあり、日本人だけでなく、さまざまな国の留学生とも交流しています。人前で話し、自分の経験や文化を伝える機会も増えました。

これからは、研究者として成長し、脳と記憶の研究を通して、社会や医療に貢献したいです。また、研究や文化交流を通して、日本とエジプトをつなぐ両国の架け橋になりたいです。そして、いつも支えてくれる妻と家族を大切にして一緒に成長し、家族と幸せな未来を築きたいです。

最後に、米山記念奨学会、高岡北ロータリークラブ、カウンセラーの八塚様、そして、いつも支えてくださる皆様に心から感謝しています。皆様のおかげで、富山で安心して研究と生活を続けることができています。